

改訂にあたって

岡崎市は、三河山地の豊かな森林と矢作川、乙川の清流を持ち、豊かな自然を活かした魅力のあるまちづくりを推進しています。

明治期の植林や戦後の広葉樹林からスギ・ヒノキ人工林への転換などを経て、平成18年1月に額田町と合併しました。現在、森林は市域の約60%を占めており、わたしたち岡崎市民は、雨水を土壌に貯めゆっくりと下流に流し洪水を防ぐ機能や土壌を崩れにくくし災害を防ぐなどの森林の持つ公益的機能による恩恵をたくさん受けて生活しています。

本市の貴重な財産である森林の恩恵を、市民一人ひとりが十分に認識し、後世に受け継いでいくために、平成23年3月に「岡崎市森林整備ビジョン」を策定し、100年後の望ましい森林の姿を目指し、森林の整備や森林環境教育などに積極的に取り組んでいます。

このたび、令和2年度に10年の短期目標を迎え、これまでの取組の結果や社会・経済・環境の変化、社会情勢の要求、計画の実効性を高めるための進捗管理を踏まえ、上位計画である「第7次岡崎市総合計画」や関連する計画と整合を図ることが必要となり、策定から10年間の取組の評価と岡崎市の森づくりの方向性を確認し、社会・経済・環境などに対応するために令和元年度に「岡崎市森づくり協議会」を設置し議論を重ね、「岡崎市森林整備ビジョン」の改訂を行いました。

今回の改訂によって、法制度や森林を取り巻く環境の変化に対応するため、個別施策については再度検討し、基本方針は変更せずに継承します。今後も継続して取り組んでいく課題と新たに発生した課題を整理し、「めぐみ・うるおい・やすらぎが共生する 岡崎らしい森林」を目指し、適切な整備・管理・保全を実施していきます。

岡崎市森林整備ビジョン 目次



第1章 岡崎市森林整備ビジョンの考え方.....	1
1-1 岡崎市森林整備ビジョンの趣旨	3
1) 背景・目的.....	3
2) 位置付け	5
3) 計画期間	7
4) 対象とする森林	8
1-2 ビジョンで目指す、100年後の望ましい森林の姿	9
第2章 岡崎市の森林・林業の現状と課題.....	11
2-1 岡崎市の概要	13
1) 土地・気象.....	13
2) 人口	14
3) 産業	15
2-2 岡崎市の森林・林業の現状と課題.....	16
1) 歴史・自然環境	16
2) 森林資源	23
3) 林業経営	29
4) 林内路網	32
5) 間伐の実施状況	34
6) 林産物生産	36
7) 治山	41
8) 鳥獣被害	42
9) 病虫害被害	43
10) 森林・林業に関する様々な取組	44
2-3 現状と課題のまとめ.....	53
2-4 本市の森林づくりの方向性についての考え方	55
2-5 今回の改訂の趣旨	57
第3章 森林づくりの方向性と施策展開の概要.....	59
3-1 100年後の望ましい森林の姿	61
3-2 多様な機能を発揮する「岡崎らしい森林」	62
3-3 基本方針	64
1) 方針1：林業及び木材産業の振興と森林資源の循環利用の促進.....	64
2) 方針2：豊かな市民生活の源となる健全で美しい森林づくりの推進	64
3) 方針3：森林づくりを支える地域の環（わ）・人の環（わ）の形成	65
3-4 施策体系	67
第4章 個別施策と取組	69

4-1	18の個別施策の内容	71
4-2	個別施策の構成	73
4-3	個別施策	74
4-4	100年後の森林とわたしたちの暮らし	92
第5章	ビジョンの推進と評価	93
5-1	ビジョンの推進の考え方	95
1)	庁内推進体制	96
2)	ビジョンの進捗管理	96
5-2	個別施策の役割分担	97
5-3	関係者に期待する役割	103
5-4	個別施策の推進期間と目標	104

◆資料編

参考資料1	放置人工林調査	参考— 3
参考資料2	用語集	参考— 8
参考資料3	ビジョン改訂体制	参考—20

（用語について）

本書には、森林・林業に関する専門的な用語が含まれているため、資料編に用語集をつけています。

用語集掲載の単語は、本文内の最初の箇所のみ、 で示しています。

（中扉のイラストについて）

2015 年（平成 27 年）からスタートした「額田木の駅プロジェクト」で使用される「森の健康券」という、額田地域の商店のみで使用可能な地域通貨に使用されたイラストです。

額田地域の小学生の皆さんが描いた森林に関する図柄が使用されています。

